



うさぎだより

中野区議会議員 無所属

佐藤ひろこ

[事務所] 〒164-0001 中野区中野1-33-9 TEL/FAX.3368-9107 [区議会] 〒164-0001 中野区中野4-8-1 市民自治控室 TEL.3228-8874

http://homepage2.nifty.com/usagidayori/ mail : usagidayori@hotmail.com

編集:住民自治をすすめる会 発行:市民自治



足をけがして車椅子で演説、となりは手話通訳

出合いの輪を広げて、4期目のスタートです。田中区政が掲げている徹底した情報公開と説明責任、手ごたえのある区民参加が果たされているかどうか、しっかりとチェックし、ひとりひとりの人権が尊重される地域社会をつくるためにがんばります。今後とも、うさぎだよりと、最新の動きを載せた私のホームページをこらんに、ぜひ、ご意見をお寄せください。

しっかりと説明責任を!

住基ネット再接続に向かう!?

個人情報保護はほんとうにだいじょうぶ?

ちょっと待って、再接続

7月15日区はセキュリティ会議を開き、住基ネットの再接続に向けた基本的な条件は整ったとの結論を出した。しかし、まだ再接続に向かうべきではない。住基ネットの目的という公的個人認証のしくみについてすら、国は説明しておらず、市民の議論も合意も出ていない。

評価できる住基ネット条例

6月議会に、中野区住民基本台帳ネットワークシステムに係わる本人確認情報等の保護に関する条例(3面に抜粋)が提案された。区民の基本的権利が侵害されるおそれのある時や、国が区の報告の求めや調査に応じない時は切断できる。接続や切断する時区民の声を聞く等、区民の個人情報を守る自治立法だ。

でも、住基ネット条例に反対

自治立法は区民と議論してつくるべき。区民が区に申し出ることができる仕組みも盛り込むべき。議論の時間が不十分だ。区民委員会で、私は継続審査を提案した。が、否決され退席した。区長は条例が再接続に向かう条件の一つだと言っている。まだ再接続に向かうべきではないと考えるので、本会議では反対した。条例は賛成多数で可決した。

区は国をチェックしてきた

昨年9月11日、区長は住基ネットを切断し、国の不十分な個人情報保護のあり方を問いだしてきてきた。総務省とやりとりを重ね、自分の情報がいつ、だれに、どんな目的で利用されたかがわかるアクセスログの整備、外部監査のしくみなどを約束させた。さらに7月22日、区は条例にもとづき、全国の自治体のセキュリティ対策が万全かどうか総務省に調査と報告を求めている。

国はまだまだ不十分

しかし、国の改善は十分ではない。7月18日の区民委員会で私は、総務省のこの回答文では、納得できない。再度区は解決されていない問題を総務省

区民意見の尊重を

8月10日まで区民の意見を聞いた後、8月中旬にセキュリティ会議を開き、区長が再接続するかどうか決定する。その後、区民委員会は8月22日にかかれ、区の決定について報告される予定だ。

支援費制度について意見交換会

9月20日(土)
PM 2:00 ~ 4:30

区の担当者も出席します
スマイルなかの3階会議室
(中野駅北口5分)

支援費制度 使いこなせていますか？

4月からホームヘルプなどの障害者福祉サービスが支援費制度というしくみに変わった。利用者がサービスを選び決めることができるというわけだが、区が判定するサービス時間は十分ではないし、サービスの利用もむずかしいなど、これでは困るという声がたくさん寄せられている。その中から

24時間介護が必要な難病の方には支援費になったら増やせると思ってきた。しかし、区は従来どおりしか認めなかった。交渉の末、時間数を少し延ばすことができたが、まだまだ足りない

* 移動介護と身体介護が分かれている

移動介護で何時間、身体介護で何時間と分けて、支給量が決まる。身体介護のヘルパーは、移動介護をすることができない。

横領事件が発覚

中野区文化スポーツ振興公社に派遣されていた区の職員が、体育館の使用料の一部を二〇〇一年度まで5年間にわたって横領していたことが発覚し、中野区から告発され5月20日逮捕された。横領額は2千3百万円余りにのぼる。前区長時代チエックできなかったが、公社も区もたるとんた状態だった。田中区政は区民の視点から考える目標作り、縦割り組織から脱皮しフラットな組織にしていくことなど、内部の意識改

24時間の 障害者地域自立生活支援センターができた

TEL・FAXは24時間受け付け
3389-2375

愛称「つむぎ」。4月から中野区ではじまった。24時間、さまざまな障害の人たちの側にたって相談にのる。もちろん支援費の相談にも。

中野駅北口徒歩5分ほどの「スマイルなかの」(社会福祉会館)の5階。休みは月曜日と年末年始だけ、それ以外は毎日朝9時から夜10時まで。

とちの木保育園を見学

公設公営の上鷲宮保育園の廃園後、区が土地を提供して民設民営ではじめた保育園。4月から開園しての問題点、苦勞などお伺いする。

中野区からの補助金が他区に比べて少なく、常勤職員を減らして非常勤職員にせざるをえず、手薄になる時間帯をカバーするために、常勤職員の残業が多くなるとのこと。

中野区はあと3園民営化する。民間法人がしっかりと豊かな保育をできるような財政支援が必要だ。



教育委員は？

教育委員に小児科医の山田正興さんが提案された。私もメンバーである、身近に起こる女性への暴力を考える会が医療機関に対するDV調査を行なった時、協力していただいたことをきっかけに、DV問題の相談にのってもらっている。子どもへの虐待問題にも熱心で、女性や子どもへの暴力は許さない人であることが心強い。区長は教育委員選任にあたって、区民推薦のしくみも含めて考えたとのこと。教育委員の同意案件に賛成した。

弱小会派？ 市民自治

私は、無所属の服部幸子さんと「市民自治」という会派を作った。市民とともに、自治を基軸に政策提案をしていく、議会内チームだ。議会運営委員会のメンバーになれるのは

3人以上の会派から。2人で何が得になるのと言われそうだが、市民の知恵を集める政策の発信源として、力を合わせて議会の中に風穴をあけていきたい。応援してください。

臨時議会は大変

今期の議会の大きな変化は、自民党の会派がはじめて二つに分かれたこと。それぞれの会派から議長候補者を出し、候補者が各会派を立候補の抱負を述べて回ったのははじめてのこと。投票の結果、山崎議員が議長に選ばれた。

臨時議会はポスト決めに2日間かかった。議会運営協議会で、議員一人5点の会派人数による持ち点を基本に決める。議長が40点、監査委員が15点、委員長が10点など。したがって議長などは大会派から選ばれることになる。議会運営協議会に参加できない私たち(服部、佐藤)は、各会派が決まったあとの空いている委員会に。私は、区民委員会と中野駅周辺警察大学校等跡地整備特別委員会に所属。がんばらなきゃ。



SARS?

6月2日、週刊誌に「都内SARS1号を追跡」という見出しで、中野区内であったSARSかもしれない事件?が載った。高熱でも呼吸器の症状はなく国の基準で定める疑い事例にあたらぬと保健所が判断したグレーゾーンの事例だが、防護服の救急隊員により区内の病院から区外の専門病院に搬送されたことから、マスコミに取り上げられる事態になった。今回はSARSではなかったからよかったが、もしそうだったら外来にいられた方に特別な部屋も用意されておらず、万全の対応がとれないことがわかった。医療機関もグレーゾーンにどう対応しているか大変不安に思っている。今回の事例を受けて、中野区医師会ではさっそく、区内病院に、SARSグレーゾーン患者のための、専用の外来と専用診療室を設けた。

自衛隊派遣より、医療の支援を

イラク特別措置法が怒号の中、国会で可決された。イラク

に放射能測定に行った藤田祐幸さんの国会の特別委員会での意見陳述から、「湾岸戦争において劣化ウラン弾を大量にイラクの大地に打ち込み、その結果イラクの子供たちに残酷な悲劇をもたらしました。アメリカはその罪も問われることはありませんでした。そして今次の戦争においてさらに多量のウラン弾を再びイラクの大地に打ち込みました。武装した兵士を送るのではなく、最新の施設を備えた小児がんセンターを建設すること。現在の日本にしかなし得ないことでありましょう。」日本政府の国際貢献の方法は間違っていると思う。

～あるハンセン病患者の不屈の生涯～
結純子ひとり芝居

「地面の底がぬけたんです」

10月24日(金)午後7時開演(手話通訳付)

なかのゼロ小ホール

当日2500円前売2000円中・高生1000円

主催 「地面の底がぬけたんです」中野実行委員会
前売券扱っています

谷戸小学校の給食試食会に参加。試食前に、栄養士の原田先生の講演。「ファーストフードの落とし穴」と、コンビニで買ったおにぎりを水に入れてみる実験。油がたくさん浮いてきたのにはびっくりした。「飽食の時代」は崩食の時代「は崩食の時代」になり、生活習慣病の若年化も進んできたという。「便利さに復讐されないために」「食べ方を通して生き方を教える」と1時間半にわたる原田先生のお話は、若い親たちへ

給食試食会

のまさに「子育て支援」だと思った。
試食会のメニューは、スープまでおいしく飲める坦々麺など、とてもおいしかった。給食調理は民間に委託されている。こんどは非常勤の学校栄養士を来年度から廃止する方針だという。中野区の学校の半分は非常勤の栄養士、あと半分が非常勤の栄養士。「崩食の時代」だからこそ栄養士は食教育のかなめでもある。栄養士の配置の

「中野区住民基本台帳ネットワークシステムに係わる本人確認情報等の保護に関する条例」から

第8条(不適正利用等に係わる国等への調査等) 区長は本人確認情報の漏えい又は不適切な利用により区民の基本的な権利が侵害されるおそれがあると認めるときは、国、他の地方公共団体、指定情報処理機関及びその他の関係者に対し、報告を求めるとともに必要な調査を行わなければならない。

第9条(不適正利用等に対する措置) 2...国等が報告の求めにに応じないとき...又は十分な調査ができなかったときは、住民基本台帳ネットワークシステム

の運用を停止することができる。3...区民の基本的な権利が侵害されると判断したときは、住民基本台帳ネットワークシステムの運用を停止しなければならない。

第10条(中野区個人情報保護審議会への報告等)

第11条(住民基本台帳ネットワークシステムの運用の再開等)...区民の基本的な権利が侵害されないと判断したときは、住民基本台帳ネットワークシステムの運用を再開しなければならない。

さらなる充実の方法こそ検討するべきではないか。



佐藤ひろこの収支報告

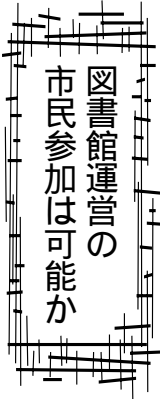
2003年4～6月

	4月	5月	6月	期末手当
収入				
報酬	¥623,400	¥593,700	¥593,700	¥1,420,427
費用弁償	¥24,000		¥6,000	
支				
税金	¥79,190	¥75,350	¥78,550	¥193,889
年金・保険	¥140,400	¥140,400	¥140,400	¥35,500
事務所費		¥112,700	¥112,700	
活動費	¥349,921	¥95,684	¥108,455	¥584,400
積み立て	¥24,000		¥6,000	
残	¥53,889	¥169,566	¥153,595	¥606,638

費用弁償とは会議に出席すると支給される3,000円の日当のこと。本来ならなくすべきだと積み立てている。

佐藤ひろこの活動日誌から

- 3 /25 福祉サービス事業団評議員会
- 31 厚生委員会
- 4 /4 区民と区長の対話集会(さくら館)
- 5 佐藤ひろこ区政報告会
- 7 谷戸小学校入学式
- 8 第9中学校入学式
- 11 総務委員会(サンブラ問題)傍聴
- 14 都市計画審議会
- 20 区議会議員選挙告示
- 27 区議会議員選挙投票日
- 28 開票 3位で当選
- 5/9 区議会初顔合わせ
- 11 ふれあい運動会
- 16 宮園乳児保育室で話し合い
- 17 住基ネット学習会
- 19 図書館の民間委託を考える集会
- 20 西洋美術の会
行政評価についてヒアリング
- 21 「地面の底がぬけたんです」実行委員会
- 22 子どもの虐待防止シンポジウム
- 23 区長室についてヒアリング
- 24 谷戸小運動会/虹と緑関東ブロック会議
よりあいバザー
- 27・28 臨時議会
- 29 基本構想についてヒアリング
- 6 /2 NPO支援についてヒアリング
- 3 養護学校保護者の会と懇談
- 4 障害者グループホーム見学
- 6 女性会館情報図書室を活用する会
- 7 「図書館委託に未来はあるか」シンポ
- 8 スマイルまつり
- 9 とちの木保育園見学
- 15 おおたか静流コンサート
- 16 女性のスペース結
- 17 給食試食会
- 20 ももランチ
- 21 身近に起こる女性への暴力を考える会
- 22 やさしさに手をつなぐ会
- 29 中野一丁目防災会総会
- 27・30 本会議/非核ネットワーク
- 7 /1 本会議
- 2 住基ネット不参加ねっと
- 3~7 区民委員会
- 8 中野駅周辺・警大跡地整備特別委
- 9 住民自治をすすめる会
- 10 最終本会議
- 12 「住基ネットいち抜けた」集会
区民参加で中野を変える会
- 14 虹と緑政策研究会「三位一体改革」
- 15 ハンセン病患者の方の話を聞く会
- 18 区民委員会
- 19 中野養護学校ふれあい盆踊り
谷戸盆踊り大会
- 20 北口広場の将来を考える会
- 23 プラスチックリサイクル工場見学
- 24・27 住基ネット再接続に向けた区説明会
- 25 DV法改正に向け国会ロビー活動



中野区は政策会議で3月末に図書館の非常勤職員廃止の方針を出した。区民にとっての図書館サービスのあり方をどう向上させるのかというビジョンよりも、非常勤職員の廃止を先に打ち出すのは本末転倒だ。

「図書館委託に未来はあるか」というシンポジウムで、来春山中湖村立図書館をNPOで運営しようとしている小林是綱さんの話を聞いた。24時間の開館、市民参加の運営など斬新なアイデアに興味を持った。中野区教育委員会は図書館の運営の一部を来年度から民間

「NPOで図書館運営を考える」
 8月25日(月)
 午後6時半～9時
 勤労福祉会館大会議室
 お話 小林是綱さん
 (NPO地域資料デジタル研究会理事長)
 主催 小林是綱さんの話を聞く会

委託する考え方を出した。職員の人件費削減だけを目的とせず、これからの図書館はどうあるべきなのか議論をしっかりとるべきだ。私たちがつくる「図書館」という小林さんの発想は大変参考になる。

傍聴してね！
 次の議会は
 9月19日(金) / 10月22日(水)
 陳情は切は10月7日(火)
 佐藤ひろこの質問日は区議会事務局に問い合わせして下さい

清掃工場建設計画が中止

7月16日の区長会総会で、新たな清掃工場の必要性がないことが確認され、中野区に清掃工場をつくらないことが事実上決まった。清掃工場建設を前提としていた、警察大学校等跡地土地利用計画も大きく変わることになる。

**中野北口広場を
広場のままに**

「中野アシビナイト」に参加。北口広場でエイサーの練習など行なっている人達が、声を掛け合い開いた集まり。「中野区の計画ではここあたりを賑わいの心(しん)と言っているけれど、賑わいは建物だけじゃない、人でつくるもの」「高円寺は阿波踊り、中野はエイサーまつり、で特徴を」などと、話しが盛り上がった。北口広場は昨年4月に三分の一が、さらに今年の4月から三分の二が仮設自転車駐輪場になってしまった。広場を残すためには、自転車駐輪対策も考えなければならぬ。どうすればいいかご意見ください。

凍えるほど寒かった時、そと差し出された赤い手袋。雨が降り始めた時、通りかかった人が渡してくれた黒い傘。体調が悪く元氣なく演説していた時に、手伝ってくれた人との出会い。車いすで演説している私を見かけて、声をかけてくださった方々。たくさんの方の思いをつなぎ、区議会議員選挙に、2696票で当選しました。

でも、いっしょに当選を目指していた後藤さちこさんが届かず。私の支えの足りなさを反省しています。皆さんの想いをしっかりと受け止め、4年間がんばってまいります。

これからもよろしくお願ひします

